

平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

会津若松市（福島県）

○計画期間:平成27年7月～平成32年3月(4年9月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点(平成28年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市中心市街地活性化基本計画は平成27年6月30日に国の認定を受け、「城下町回廊の賑わい」～まちなかの生活の場・交流の場づくりによる、賑わいのあふれる、歩いて暮らせるまちづくり～を基本理念として掲げ、官民が連携しながら、基本計画に掲載された全51事業を推進し、中心市街地の活性化に取り組んでいる。

平成27年度については計画初年度であり、計画掲載の新規事業の効果は直接的には表れていないものの、商店街におけるテナントミックス事業や継続事業である「空き店舗対策事業」や「創業支援事業」等の効果により、目標指標である「新規出店者数」については増加傾向を示している。

また、商機能の充実に向けては、民間事業者により商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備改修構想策定事業が実施され、整備構想案の策定に至ったところであり、今後の事業実施に向けた取組みが期待されるほか、神明通り商店街一体的整備構想事業及び市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」により、駐車場やポケットパーク、ファサード等の環境整備が進められており、今後の事業展開により回遊性や滞留性の向上による賑わいの創出が図られていくものと思われる。

そのほか、市道若3-221線拡幅整備、特別養護老人ホームや高齢者向け住宅の建設完了、現在進められている会津若松駅中町線道路美装化等整備事業の効果についても、今後、目標指数への影響が発現してくるものと思われる。

これらの動きに加え、市においては市民協働事業として「まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業」、「まちなか誘導、回遊・交流促進事業」、「通り・路地裏整備魅力向上事業」等を実施しており、これら事業がきっかけとなり市民、商店街、関係団体等によるまちなみや地域素材を活かした賑わいづくりに向けた取組みがまちなか全体に広がっていくことが期待される。

さらに、商店街においては「個店魅力向上事業（まちゼミ）」事業や、市民団体等と連携した「まちなかナイトバル」、「まちなか子どもフェスタ」などのソフト事業が展開されており、新たな層の来街と多様な主体の参画が促進されてきている。

今後は、計画掲載の新規事業の進捗により、更なる効果が期待できる。

2. 平成27年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

基本計画の取組に係る進捗状況は、目標指標である「歩行者通行量」「活動拠点施設利用者数」は前年度を下回っているものの、目標達成の見通しもあり、また、「新規出店者数」は、各種活性化事業の取組により、前年度を上回り基本計画は概ね順調に進捗していると評価する。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
1. 商機能の向上	新規出店者数 (過去5年平均)	8.8 件 (H26)	13.6 件 (H31)	9.8 件 (H27)	—	①
2. 交流人口の拡大	歩行者通行量(平日と 休日の加重平均)	26,151 人/ 日 (H26)	27,675 人/ 日 (H31)	25,129 人/ 日 (H27)	—	①
3. まちなかにおける 市民による活動量 の増加	活動拠点施設利用者数	512,179 人 /年 (H24)	530,233 人 /年 (H31)	511,879 人 /年 (H27)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

(1) 商機能の向上

継続事業である市や商工会議所による空き店舗対策事業のほか、市や金融機関、NPO 等による創業支援事業、商店街等におけるテナントミックス事業による出店、創業サポートに加え、市民、商店街や関係団体等による景観づくり事業など、中心市街地の賑わいづくりのために様々な仕掛けづくりが行われており、まちなかの動きに対する関心や効果が徐々に現れ始めてきている。

特に空き店舗対策事業や創業支援事業については認知度が高まってきており、相談件数、受講者数ともに増加していることから、今後も、商業施設の改修整備や空き店舗等へのテナント誘致等による出店者増加に寄与する事業を着実に実施することにより、目標の達成は可能と見込まれる。

(2) 交流人口の拡大について

まちを「歩く」ことを通した健康づくり事業、高齢者向け住宅建設事業、商店街によるテナントミックス事業、コミュニティ施設整備事業、ファサード改修事業等の実施により、まちなかに新たな人の流れができる様々な取組みや仕掛けづくりが行われてきたところであり、今後は商業施設の改修整備、歴史的建造物を活かした賑わい拠点づくり事業や都市計画道路会津若松駅中町線美装化事業、商店街イベント事業等の実施により、目標の達成が期待される。

(3) まちなかにおける市民による活動量の増加について

商店街によるコミュニティ施設整備事業により、3施設が整備され、地域住民の交流や各種イベント、ワークショップ等に活用されるなど新たな市民活動拠点が創出された。また生活環境の向上、また、市道若 3-221 線拡幅整備事業の終了等により、まちなかにおける回遊性向上による

賑わいの創出、利便性の向上が図られた。

今後は、さらなる商店街によるコミュニティ施設の整備と併せ、イベント等の開催や施設のPRを含めた利用促進策を講じることで、目標の達成が期待される。

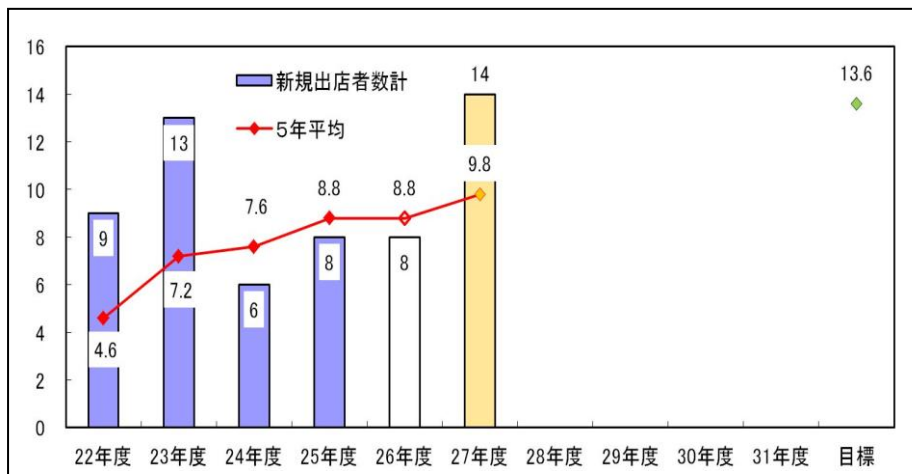
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

計画策定初年度のため、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規出店者数（過去5年平均）」※目標設定の考え方基本計画 P62～P65 参照

●調査結果の推移



年	(件)
H26	8.8 (基準年値)
H27	9.8
H28	
H29	
H30	
H31	13.6 (目標値)

※調査方法：毎年度3月末日時点での数値を関係機関等に照会

※調査月：平成28年4月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：中心市街地内への新規出店者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①創業支援事業（会津若松市、NPO法人、民間事業者等）

事業完了時期	平成26年度～平成31年度【実施中】
事業概要	市が民間事業者と連携し、新規創業支援を行うことで、地域の開業率を引き上げるとともに、魅力的な店舗の集積を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度新規創業者数約40件のうち、中心市街地新規出店者数は7件。（他事業との重複分除く） 引き続き、総合的な創業支援を続けていくことで、中心市街地での新規出店者数の増加が期待される。

②市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」
 (会津若松市役所通り商店街振興組合)

事業完了時期	平成26年度～平成29年度【実施中】
事業概要	空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等をとおして、回遊性・滞留性の向上、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	空き店舗を活用したテナントミックス事業により、新規出店が1店舗あり、新たな賑わい創出に寄与した。 引き続き、事業が継続されるため、新規出店者数の増加が期待される。

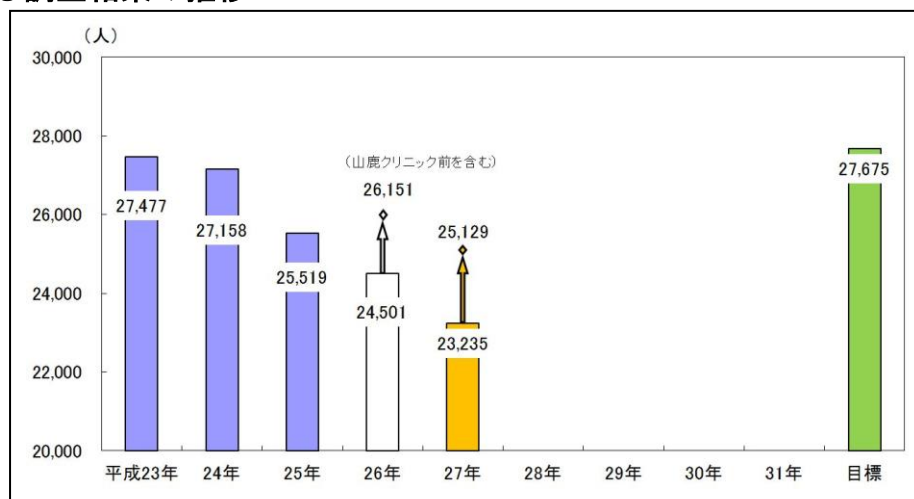
●目標達成の見通し及び今後の対策

新規出店者数が増加する一方で、平成27年度会津若松商工会議所市内商店街空き店舗状況調査によれば、中心市街地の空き店舗数が平成26年度に比べ12件増加(計71件)している状況にある。

今後は、空き店舗対策事業、創業支援事業のさらなる推進を図るとともに、商業施設の改修整備事業、商店街におけるテナントミックス事業、会津版家守事業等の実施により新規出店が促進され目標の達成が見込まれることから、事業主体による円滑な推進に向け、積極的な支援等を行い、目標達成を目指していく。

「歩行者通行量(平日と休日の加重平均)」※目標設定の考え方基本計画 P66～P73 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H26	26,151 (基準年値)
H27	25,129
H28	
H29	
H30	
H31	27,675 (目標値)

※調査方法：中心市街地15箇所、平日と休日の各1日、12時間連続調査

※調査月：平成27年7月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：歩行者数(自転車含む)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①スマートウェルネスシティ事業（会津インターナショナルスイミングスクール）

事業完了時期	平成26年度～平成31年度【実施中】
事業概要	ICTを活用して利用者個別の生活習慣、運動量、生体情報等のデータを蓄積し、個別指導に活用するとともに、まちなかを「歩く」ことを通した健康づくり等事業を実施し、参加者の健康増進や歩行者通行量などの増加を図る。
事業効果及び進捗状況	各種健康づくり事業を実施し、生体情報に基いた個人の健康管理等を行うことで参加者の健康が改善されたほか、まちなかを「歩く」ことで、地域とのつながりが促進された。 引き続き、事業が継続されるため、参加者の健康増進と歩行者通行量の増加が期待される。

②高齢者向け住宅建設事業（株式会社ライフエージェント）

事業完了時期	平成26年度～平成27年度【済】
事業概要	高齢者向け集合住宅とデイサービス施設の建設。
事業効果及び進捗状況	平成27年9月から供用を開始し、サービス付高齢者住宅19床が満床であるほか、同施設内のデイサービス、リハビリ特化型運動施設の利用者により新たな層の来街が図られ、歩行者通行量の増加が期待される。

③まちなかコミュニティ機能再生事業（会津ふれあい通り大和町桂林寺町商店会、本町商店街振興会 など）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	地域の活動拠点として多くの人が集い、ふれあい、活動する場を提供し、賑わい創出を図る。
事業効果及び進捗状況	会津ふれあい通り大和町桂林寺町商店会（平成26年度）、本町通り商店街振興会（平成27年度）などにコミュニティ施設が整備・供用開始され、市民活動の拠点として、新たな賑わい創出に寄与した。 引き続き、他の商店街等による新たな拠点施設の整備や施設のPR・利用促進策等により、市民活動量の増大と歩行者通行量の増加が期待される。

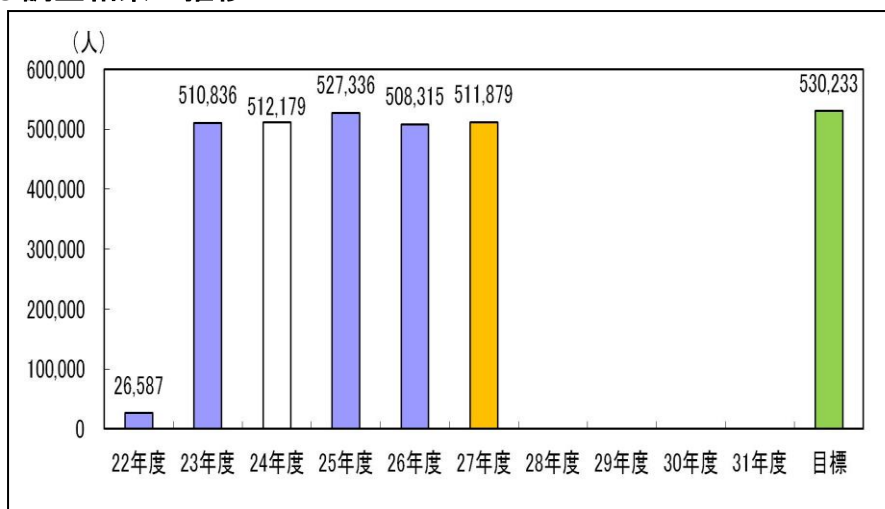
●目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画認定後すぐの歩行者通行量測定（平成27年7月）であったため、上記、事業の効果が発現してくるのは、来年度以降になると思われる。

今後、他の商店街等による新たな施設整備やイベント等の実施により市民活動量の増大による歩行者通行量の増加が期待されることから、事業主体による円滑な事業推進に向け、積極的な支援等を行い、目標達成を目指していく。

「活動拠点施設利用者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P74～P77 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H24	512,179 (基準年値)
H27	511,879
H28	
H29	
H30	
H31	530,233 (目標値)

※調査方法：毎年度3月末日時点での数値を関係機関等に照会

※調査月：平成28年4月

※調査主体：会津若松市

※調査対象：既存の主要な活動拠点施設及び新たに整備された施設の利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①（再掲）市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」（会津若松市役所通り商店街振興組合）

事業完了時期	平成26年度～平成29年度【実施中】
事業概要	空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等をとおして、回遊性・滞留性の向上、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	商店街内に、既存店舗を活用したコミュニティ施設が整備・供用開始され、市民活動の拠点として、新たな賑わい創出に寄与した。 今後は施設のPR・利用促進策等を行っていくことで、施設を活用した市民活動量の増大が期待される。

- ②（再掲）まちなかコミュニティ機能再生事業（会津ふれあい通り大和町桂林寺町商店会、本町商店街振興会 など）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	地域の活動拠点として多くの人が集い、ふれあい、活動する場を提供し、賑わい創出を図る。
事業効果及び進捗状況	会津ふれあい通り大和町桂林寺町商店会（平成26年度）、本町通り商店街振興会（平成27年度）などにコミュニティ施設が整備・供

	用開始され、市民活動の拠点として、新たな賑わい創出に寄与した。 引き続き、他の商店街等による新たな拠点施設の整備や施設のPR・利用促進策等により、市民活動量の増大と歩行者通行量の増加が期待される。
--	---

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地内に3件のコミュニティ施設が整備され、新たな市民の活動が促進されている。今後は、他の商店街等による新たな施設整備と併せ、市民活動拠点としてのPR・利用促進策等を積極的に行うとともに、イベント等の開催などにより更なる市民活動量の増大が見込まれることから、事業主体による円滑な事業推進に向け、積極的な支援等を行い、目標達成を目指していく。